

登録コード	E8863400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	川久保 英樹
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	・研究開発に関する基本的な思考方法, 実施能力を身に付け, 教員の仕事, および研究開発業務に応用できるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	・専門性の高い先端的・独創的な研究課題に取り組み, 実際の研究活動を通して, 基礎学問および先端技術に関する研究開発方法, 科学的な思考方法などを身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	・ 研磨・切削, およびその周辺技術に関する研究分野から研究課題を選んで, 実験および理論的な検討を行う。また, 研究内容について様々な研究者とのディスカッションを行うと同時に, 研究成果を社会に還元する。						
(5)授業計画	以下の(1)から(5)の内容について, 週1回の活動報告会を実施しながら研究課題に取り組む。 (1)研究課題の選出 (2)先行研究に関する文献調査 (3)研究計画の作成 (4)理論および実験的研究活動の実施 (5)卒業論文の作成と発表 授業アンケート						
(6)成績評価の方法	・ 研究意欲・態度・研究への取り組み: 50% ・ 卒業論文(内容, 完成度): 50% ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	以下に示す基準により評価する。 ・ 日頃から研究課題に取り組んでおり, 研究結果が論理的に考察された内容であれば「水準にある」 ・ 先行研究に対して新たな知見, または有用性を備えた内容であれば「やや上にある」 ・ 学会での口頭発表が可能な内容であれば「かなり上にある」 ・ 新規性と独創性を有しており, 論文にまとめられる内容であれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	・ 予習: 研究を進めるにあたって必要な基礎項目, 基礎技術, 基礎技能の課題を見出して, 調査, 確認する。 ・ 復習: 研究の進捗状況を自ら把握するため, 実験結果の整理, 調査, 確認を行う。 ・ 必要に応じて, 実験装置の試作設計, 製作までを行う。						
(9)履修上の注意	・ 知的好奇心, 自主的・能動的な研究意欲が求められる。 ・ 体調管理, 時間管理が重要である。						
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	・ オフィスアワー: W215室 在室のときはいつでも ※来客中は除く ・ 授業担当者の連絡先: kawa-h@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	・ 適宜指示する。						
【参考文献】	・ 適宜指示する。						